

女性活躍推進プラットフォーム事業による 子育て世代女性の経済的自立支援に関する調査研究

計画の概要

三次市の女性の働き方に関する調査分析を行い、三次市で進められている子育て世代女性の経済的自立に向けた支援施策を補完することを主な目的としています。

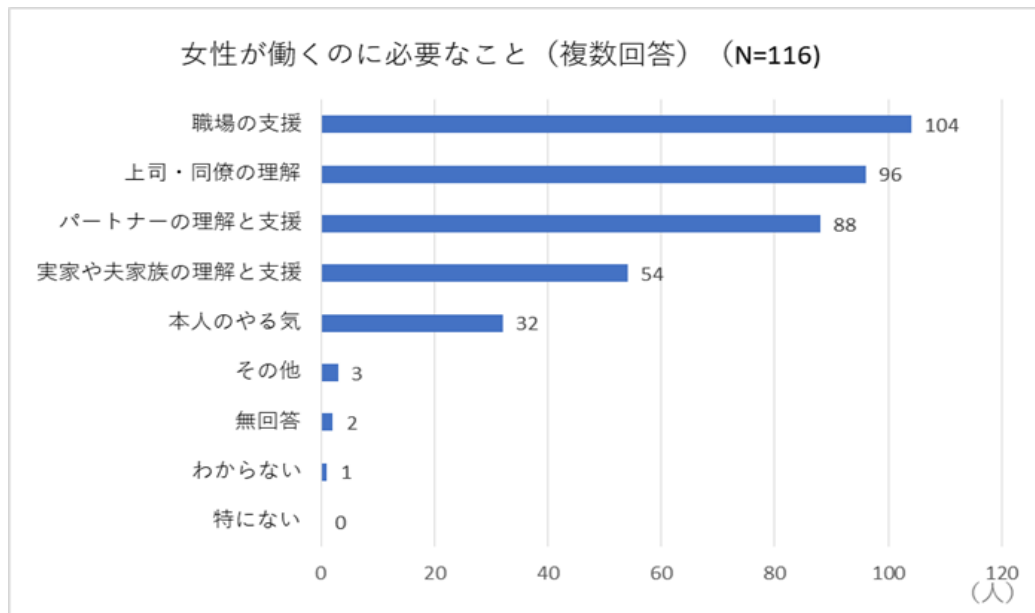
三次市には、女性の起業や就労を支援するための施設「アシスタ lab.」が設定されています。当該施設の利用を促進するためには何が必要となるのかを明らかにします。

また、女性の就労を促すうえで、事業者と就業希望者とのマッチングが成否のカギとなるため、女性の就労に対する考え方と事業所の現状と意向を把握する調査を実施します。

進捗状況及び中間段階の成果の概要

(1) 県立広島大学の学生の協力を得て、調査票調査を実施しました(回答数 116)。この調査では、就職を控えた若い世代が労働に対してどのように考えているのかを幅広く把握することを目的としています。

「女性が働くのに必要なこと」についての問いに対しては、「職場の支援」「上司・同僚の理解」など事業所の対応を重視しています。事業所がこのような期待とマッチしているのか、これからの検討課題となります。



(2) 三次市の男女共同参画に関する意識調査に合わせて事業所における男女共同参画の調査を実施しました(調査期間:9月30日~10月15日)。これから得られたデータをもとに、事業所に対して聞き取り調査を行う予定です。

(3) 県立広島大学の学生の労働に対する意識調査を再度実施する予定です。